

いいだ 市議会だより

編集/市議会だより編集委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町 [TEL] 0265-22-4511

No. 159

平成 19.5.29

PRINTED WITH SOY INK R100
大豆油インキ100%使用 古紙配合率100%紙

第1回
臨時会

議会選挙で
議長に上澤義一氏 副議長に矢澤芳文氏を選出



なし・りんごの花が咲く中で、第21回飯田やまびこマーチが4月28日・29日に開催されました。

今年は、「一花と緑と陽光の中を— 手づくりのおすすみを持って家族で歩こう」をテーマに、全国から4,120人が参加し、さわやかな春を満喫しながら歩きました。（29日 上郷にて）

臨時会のあらまし

飯田市議会第1回臨時会は、5月11日に1日の日程で開催しました。

この臨時会では、平成18年度飯田市一般会計補正予算(最終補正)をはじめ報告9件、監査委員・財産区管理委員の選任等市長提出議案10件とともに、議会議案として「暴力行為根絶に関する決議」が審議され、いずれも原案のとおり決定されました。

また、申し合わせによる2年任期満了に伴う正副議長の改選を行い、投票の結果、議長に上澤義一氏、副議長に矢澤芳文氏を選出しました。

続いて、常任委員・議会運営委員をあらたに選出しました。また、特別委員会として引き続き土地利用計画特別委員会をはじめとして、各種検討委員会等の委員の選任を行いました。

平成十八年度一般会計 補正予算案を承認

(第五号)は、三月三十日に市長が専決処分をしたもので、議会に報告され承認されました。

予算総額から、四億二千三百十六万四千円を減額し、歳入歳出の総額は四百十六億六千九百九十九万八千円となりました。

主な歳入では、地方交付税四億四千百十一万九千円や、地方贈与税七千六百七十五万一千円等の増額とともに、基金繰入金を九億四千五百万円減額しました。

議会議案

「暴力行為根絶に関する決議」を可決

去る4月17日、長崎市の伊藤一長市長が銃撃され、死亡するという事件が発生した。

同市長は、4月22日に実施された統一地方選の同市長選に立候補しており、選挙期間中の凶行であった。

今回の事件の動機や背景として、一部報道により、犯人の行政に対する不満が報じられているが、真相解明は司直の手に委ねられている。しかしながら、その動機がいかなるものであれ、現職の市長に対し、市長選の選挙期間中を狙って行われた銃撃行為は、政治活動および言論の自由を抑制するものであり、民主主義に対する重大な挑戦と言えるものであって、断じて許すことはできない。

さらに、今回の凶行は、自らの主張や要求が通らないときは、暴力をもって報復することも辞さないという卑劣な行為であり、公正、公平であるべき行政の健全性を阻害するものであるとともに、市民生活の平穏に対する重大な脅威でもあって、強い憤りを禁じえない。

飯田市議会は、こうした事件の再発防止を図るためにも、今回の事件の徹底糾明を強く要望するとともに、安心安全に暮らし続けることができる地域づくりを推進するため、市民とともに暴力追放の世論をさらに盛り上げ、飯田市が掲げる、すべての暴力の根絶を図る都市宣言にのっとり、暴力の絶滅に努力することを誓うものである。

以上、決議する。

歳出では、庁舎建替に向けた基金積み立てを二億一千六百四十八万一千円追加したのをはじめ、決算見込による不用額を減額したことが主な内容です。

特別会計・公営企業会計 補正予算案を承認

特別会計・公営企業会計の補正予算案は、いずれも報告のとおり承認されました。

これによつて、特別会計・公営企業会計の予算総額は、一億五千三百四万円を増額して、五百三億七千三百七十万三千円となりました。

●飯田市税条例の一部を改正する条例

【地方税法及び地方税法施行令の一部改正に伴い、条例には市民税の納税義務者等に新たに法人課税信託の引き受けによる場合の規定を加え、附則には高齢者等の住宅のバリアフリー改修に伴う固定資産税の減額措置の創設に伴う書類の扱いを追加。】

●飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例

【地方税法の改正に伴うもの】

●飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

【非常勤消防団員等に関わる損害補償基準を定める政令の一部の改正に伴い、補償基礎額について配偶者以外の3人目以降の扶養親族に係る加算額を200円に引き上げる】



5月11日 第1回臨時会

承認した主な報告

監査委員	熊谷富夫	固定資産評価審査委員会委員	中山達夫
中央財産区管理委員	兵藤孝夫 沖村良治	松尾地区財産区管理委員	青島宣義
長野原財産区管理委員	小林泉 佐々木昭 山本宗義 玉置照男 林二一 田嶋正孝	時又財産区管理委員	今村邦彦 伊藤貞治 今村孝子 伊原隆司 伊藤昭文 横田健 伊藤宣二
桐林財産区管理委員	倉澤好一 渕田金文 秦彰男 原廣志 中島悟 下平章夫	上川路財産区管理委員	牧内靖幸 福岡計介 横井義尚 塚平茂 笹岡俊宏
駄科財産区管理委員	原田和夫 玉置作男 下平久雄 吉村豊成 牧島茂幸 下平吾郎	山本区財産区管理委員	竹村日支夫 平栗利春 関島隆好 小林茂 純綾重雄

同意した人事



補正予算等の審議の後、熊谷議長から議長の辞職願が提出され、審議の結果、辞職の許可が決定されました。そこで直ちに投票による議長選挙を行った結果、上澤義一議員が当選しました。就任にあたり上澤議長は、「自治基本条例に規定する議員や会の役割をきっちりと果たすことで開かれた議会に向けた改革を進め、市民の信頼と期待に応えるとともに、協働の精神で重要課題へ取り組んで行きたい」と決意の表明がありました。

議長の選挙



退任した熊谷前議長(左)と林前副議長

今回の臨時会では、申し合せによる任期満了に伴う正副議長の改選が行われたほか、条例の規定により二年の任期が満了になる常任委員会や議会運営委員会、並びに特別委員会、南信州広域連合議会議員などの構成も変わりました。

新しい構成により、今後二年間の議会運営にあたることになりました。(委員の構成は四頁)

続いて、林副議長から副議長の辞職願が提出され、審議の結果、辞職の許可を決定しました。このため直ちに投票による副議長選挙を実施した結果、矢澤芳文議員が当選しました。

就任した矢澤副議長は、「公正公平の職務を遂行し、更には透明な議会運営をはかり、議会の情報を積極的に公開し共有することで、市民も行政や議会運営を感じていただけるような議会運営を議長の下で目指していく。」とのあいさつがありました。

副議長の選挙

土地利用計画特別委員会を設置

持続可能な地域経営に向けて総合的・体系的な土地利用計画づくりに取り組んでいくために、引き続き土地利用計画特別委員会を設置しました。

十九年度は、理事者側から土地利用調整条例、景観条例、緑の育成条例、屋外広告物条例、都市計画施行条例(改正)の提案が予定されており、この特別委員会の果たす役割がより重要な段階を迎えます。

常任委員会、特別委員会のほかに、多様化する重要な課題の解決に向けて、議会内部の研究検討委員会として、議会の政策立案と条例制定権の強化に向けて

「議会議案検討委員会」、行政評価や行財政改革の取り組みを協議する「行財政改革検討委員会」、議会みずからが改革を推進する研究組織として「議会改革検討委員会」を設置することになりました。

3つの検討委員会を設置

議長就任のあいさつ

～協働の精神でチャレンジを～

このたび開会された臨時会において4年任期の後半2年間の市議会議長として議員の皆様から選任いただきました。市民の皆様の負託に応えるべき議会の役割の重さとその重責をひしひしと感じております。

地方分権が進む中で議会には、市民に対し開かれた議会と市民の皆様の負託にこたえ、信頼、期待される議会がより一層求められています。

これらのことと常に念頭に置きながら、議会、議員活動を進めなければと思っています。

飯田市には、子育て、福祉、教育、財政、環境、社会基盤整備、産業振興等をはじめとする多くの課題が山積しております。

また、飯田市を中心とした南信地域の将来に大きな影響をおよぼす三遠南信自動車道、リニア中央新幹線、道州制などの動きが顕在化してきております。これらの諸課題を確実に実現していくためには議会としてキッチリとその役割・責務を果たさなければと考えております。

そして市民、行政、議会が強い協働の精神を持ち、取り組んで行かなければ課題の克服、実現は困難だと考えております。改めて市民の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。

議長 上澤 義一



議長室にて

上澤義一議長(右)と
矢澤芳文副議長

各委員会・南信州広域連合議会議員名簿

(19.5.11選任)

常任委員會

議会運営委員会

行財政改革検討委員会

南信州広域連合議会議員

◆社会委員会	◆総務文教委員会
"	委員長
"	副委員長
"	委員
"	森本 美保子 勉
"	清水 新井 信一郎 勇
"	村松 まり子 勇
"	清水 佐々木 重光 可晴
"	牧内 信臣

土地利用計画特別委員会

儀會文苑卷之三

委員等の選任方法

常任委員会の委員等は、あらかじめ会派内で各議員の希望を取りまとめて調整したものを、議長が本会議で指名し選任しました。正副委員長は、各委員会において委員の互選により決定されました。

会派構成

1

議会だより編集委員会

◆むとす市民の会

議會選出監查委員

◆ 産業経済委員会 委員長 副委員長 委員

卷之三

◆市民パワー

◆建設環境委員会

委員長
湯澤

◆日本共産党

副委員長

委員

◆公明党

委員
代田内山下木伊壺谷熊

内山井永木下藤後谷熊
子英一要子容莊富夫

A decorative vertical border on the left side of the page. It features a repeating pattern of stylized flowers and leaves in grey and black. The text '代表 林 幸次' is integrated into the design, with '代表' at the top, '林' in the middle, and '幸次' at the bottom, all in a traditional Japanese font.

